

平成30年度事業団報告書

事業団管理の概要

1. 理事会、監事会、評議員会等状況

平成30年 5月15日 八代市社会福祉事業団監事會を八代市立希望の里たいよう会議室で開き、監事（馬渕惺敬氏、増田等氏）による平成29年度事業、会計収支決算等の全般にわたる監査を実施し、事業団定款第32条に基づき監事の承認を受けた。

平成30年 5月25日 第131回（平成30年度1回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成29年度事業報告・会計収支決算等の審議を行い、監事監査報告のうえ事業団定款第24条に基づき理事会の認定を受けた。また、事業団定時評議員会の招集、事業団理事候補者の選任について審議を行い、理事会の承認を受けた。報告事項として理事長職務執行状況報告、利益相反行為及び双方代理となる事項について報告し理事会の承認を受けた。

平成30年 6月19日 第8回（平成30年度1回）定時評議員会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成29年度事業報告・会計収支決算等の審議を行い、監事監査報告のうえ、評議員会の認定を受けた。また、事業団理事の選任について審議を行い、評議員会の承認を受けた。

平成30年 6月21日 平成29年度資産総額の変更登記について組合等登記令第3条第3項に基づき法務局への登記手続を完了した。（平成30年6月21日完了）

平成30年 6月27日 社会福祉法第45条の14第9項で準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の規定（理事会の決議の省略）に基づき、副理事長として丸山智子氏の選任を行った。

平成30年12月21日 第132回（平成30年度2回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成30年度会計収支補正予算、評議員選任・解任委員会の招集、評議員候補者の選任、事業団諸規程の改正について審議を行い、理事会の承認を受けた。また、報告事項としてのぞみ母子センター児童発達支援センターへの移行の延期、保寿寮屋根改修、グループホームおおぞら荘建替えに伴う経過報告について報告し理事会の承認を受けた。

平成31年 1月17日 平成30年度第1回評議員選任・解任委員会（委員 稲田卓也氏、増田等氏、橋本洋明氏）を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、事業団評議員の選任について審議を行い、評議員選任・解任委員会の承認を受けた。

平成31年 3月19日 第133回（平成30年度3回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成30年度会計収支補正予算、平成31年度事業計画・当初予算、利益相反行為及び双方代理となる事項、事業団諸規程の改正について審議を行い、理事会の承認を受けた。また、報告事項として理事長職務執行状況報告、評議員の選任について報告し理事会の承認を受けた。

2. 経営計画

- ・本年度も財政改革に取組み、事務費事業費経費等の削減を実施し、将来に向けて安定経営が出来るよう各施設の運転資金等の財源確保に努めた。
- ・本年度は、八代市立希望の里たいよう（障がい福祉サービス事業）の指定管理者と保寿寮（養護老人ホーム）と八代市のぞみ母子センター（障害児通所支援事業）とグループホームおおぞら荘（共同生活援助事業）と相談支援事業所たいよう（相談支援事業）を自主事業、また、保寿寮（高齢者短期入所事業）八代市のぞみ母子センター（八代圏域地域療育センター事業）の事業の受託事業として、利用者に対して質の高い福祉サービスを提供し、安全で安心して利用できるような施設管理運営に努め、特に職員の意識改革を図った。

○法人、施設経営への参画意識を高める

財政面においては大変厳しい状況下にあることを職員一人一人が認識し、施設等の基準収入（措置費、給付費）、受託収入、法人独自の自主事業収入を基本とし、事業経費の効率的な運用を行った。

○人材の育成

今、地域社会が求める福祉ニーズの内容は、より高度化、複雑化しており、このような複雑多様化するニーズに柔軟に対応しながら、福祉サービス利用者の人間性を尊重し、より満足度の高い福祉サービス提供するためには、各種業務に従事している職員一人一人が、組織人としてのモラルを高め自己啓発を行うと共に、その職種に応じた専門的知識・支援技術の向上に努めた。

3. 指定管理者の状況

- ・八代市との協定書の締結（平成28年4月1日）

希望の里たいよう 指定期間 平成28年4月1日から平成33年3月31日の5年間（3年経過）

4. 施設運営の変更等

- ・特になし。

5. 苦情相談状況

- ・各施設に苦情受付担当者及び苦情解決責任者を置き、利用者が福祉サービスを適正に利用できるように相談業務を実施した。その結果、特に苦情に繋がるものはないなかつた。また、苦情解決相談委員会を開催し各施設の状況報告を行い、苦情解決第三者委員により助言をいただいた。

6. 施設長会

- ・事業団及び各施設の連携と円滑な運営を図るため、毎月1回定期的に開催した。
- ・必要に応じて臨時に施設長会を開催した。

7. 職 員 会 議 ・事業団職員の意志疎通を図り、連携を深めるため、平成30年9月、平成31年2月に事業団会計庶務担当者会議を定期的に実施した。
なお、事業団内部経理監査を併せて実施した。
8. 職 員 研 修 ・事業団職員の資質向上を図るため、各施設において内部研修等を実施した。
・事業団職員が人権を正しく理解し、施設利用の皆様へのサービス向上につなげるため、全職員を対象に人権に関する研修会を平成30年7月に実施した。
・事業団職員が組織人としてのモラルを高めるため、等級別に分けて、それぞれの役職に応じた研修を社労士より平成30年4月、7月、9月、10月に事業団職員研修として実施した。
・新規採用職員については、各施設各事業を理解するため、平成30年9月に事業所内研修を実施した。
・健康管理に関する研修として、外部より講師を招き、平成31年2月に健康経営・メンタルヘルス研修を実施した。
9. 人 事 関 係 ・事業団組織（各施設間）機能をより強化し、かつ、活性化を図りながら円滑、円満で効率的な運営ができるよう職員体制を整え、又職員の活力を図るため人事異動等を実施した。
10. 寄 附 関 係 ・平成30年12月18日 市婦人会連絡協議会様より 20,000円（希望の里たいようへ寄附）
11. 行 事 実 施 表 ····· 別表1
12. 自主事業及び受託施設等の運営事業状況
- | | |
|-----------------------------|--------------|
| (1) 老 人 福 祉 施 設 | 保 寿 寞 |
| 養護老人ホーム（入所） | |
| (2) 障 害 児 通 所 支 援 事 業 所 | 八代市のぞみ母子センター |
| 八代圏域地域療育センター事業 | |
| (3) 共 同 生 活 援 助 事 業 | グループホームおおぞら荘 |
| (4) 障 が い 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 所 | 八代市立希望の里たいよう |
| (5) 相 談 支 援 事 業 | 相談支援事業所たいよう |

平成30年度行事実施表

月別	内 容
H30. 4	2. 辞令交付（市長室） 2. 第1四半期委託料 17. 社会保険調査 19. 指導監査研修 20. 給与支払 25. 税理士決算監査 26. 定例施設長会（たいよう） 25. 管理者研修（たいよう） 27. 新採職員健康診断
5	1. 税理士月次監査（決算） 9. 施設長・庶務担当者会議（たいよう） 15. 事業団監事会（たいよう） 21. 給与支払 21. 臨時施設長会議（たいよう） 25. 事業団理事会（たいよう） 28. 定例施設長会（たいよう） 31. H30人権問題啓発推進協議会総会
6	5. 電子開示システム入力講習会 14. 電子開示システム入力講習会 15. 県指導監査説明会 19. 事業団評議員会（たいよう） 21. 給与支払 25. 定例施設長会（たいよう） 27. 八代市社協評議員会 27. 事業団理事会（決議の省略） 28. 社会保険事務説明会 29. 期末勤勉手当支給
7	2. 第2四半期委託料 2. 副理事長視察 3. 事業団人権研修会（たいよう） 4. 指定申請事前協議 9. 事業団人権研修会（のぞみ） 12. 全事協九州ブロック会議 18. 事業団職員研修（採用3年未満） 19. 税理士月次監査（たいよう） 20. 給与支払 24. 分会合同会議 25. 定例施設長会（たいよう） 26. 県指導監査（保寿寮）
8	7. 保寿寮屋根補修協議（保寿寮） 21. 給与支払 24. 定例施設長会（たいよう） 27. 公正採用選考人権同和問題啓発研修
9	10. 年金委員実務研修 11-14. 新採職員事業所内研修 12. 熊本県社会福祉事業団来所 18. 保寿寮屋根補修協議（保寿寮） 20. 税理士月次監査 20-21. 新採職員フォローアップ面談 21. 給与支払 21. 事業団職員研修（一般） 25. 定例施設長会（たいよう） 27. 庶務研修（消費税）・庶務担当者会議（内部監査） 27. 苦情相談委員会（たいよう） 28. 県内事業団事務職員研修会
10	1. 第3四半期委託料 10. 安全運転管理者講習 12. 土地見学（事務局） 18-19 全国社会福祉事業団大会 19. 給与支払 23. 事業団職員研修（係長・副施設長） 25. LGBTなど人権に関する研修 25. 定例施設長会（たいよう） 30. 事務局会議（たいよう）
11	3. 10周年記念たいよう祭 7. 八代市社会福祉協議会評議員会 14. 社会保険事務研修会 15. 土地見学（事務局） 16. 八代市ふれあいフェスタ準備 17. 八代市ふれあいフェスタ参加 20. 年末調整説明会 21. 税理士月次監査（たいよう） 21. 給与支払 22. 定例施設長会（たいよう） 27. 福祉サービス苦情解決研修会 27. 保寿寮屋根改修協議（保寿寮） 12-21. 事業団職員健康診断の実施
12	3. 障がい者就労支援セミナー 6. 市健康福祉政策課との屋根補修協議 10. 期末勤勉手当支給 13. H30県社協退職共済事業事務説明会 19. 税理士月次監査（年末調整） 21. 事業団理事会 21. 給与支払 25. 定例施設長会（たいよう） 28. 年末調整支給 28. 事業団仕事納め式
H31. 1	4. 事業団仕事始め式（たいよう） 4. 第4四半期委託料 8. 熊本計算センター来所（マイナンバーシステム） 17. 事業団評議員選任・解任委員会（たいよう） 21. 給与支払 22. 税理士月次監査（給与支払報告） 25. 定例施設長会（たいよう） 29. 社労士相談（たいよう） 30. 苦情解決第三者委員研修
2	8. 軽減税率経過措置対応セミナー 20. 事業団職員研修（健康経営・メンタルヘルス） 21. 社会福祉法人運営実務研修会 21. 給与支払 22. 社会福祉法人運営実務研修会 26. 定例施設長会（たいよう） 27. 庶務担当者会議（内部監査）
3	5. 就職面接会（職安） 6. 市共同募金委員会審査委員会 8. 臨時施設長会（たいよう） 19. 事業団理事会（たいよう） 20. 給与支払 26. 定例施設長会（たいよう） 27. 市地域福祉計画等策定評価委員会 27. 市社協評議員会

平成30年度 指定相談支援事業所たいよう事業報告書

(1) 設置目的

地域の障がい者等の福祉に関する各般の問題につき、障がい者等や家族等からの相談に応じ、必要な情報提供や助言、障がい福祉サービスの利用支援及び地域相談支援等を行うと共に関係機関や福祉サービス提供事業者と連絡調整や権利擁護のために必要な援助を行い、その他の便宜を総合的に供与し、障がい者（児）が安心して地域生活が営むことができるよう支援することを目的とする。

(2) 設 置 社会福祉法人 八代市社会福祉事業団

(3) 所 在 地 八代市日奈久平成町1-1 養護老人ホーム 保寿寮内

(4) 事業開始年月日 平成27年4月1日

(5) 実施事業内容

1. 指定一般相談支援事業・・・平成30年度につきましては実施なし（該当者なし）

①地域移行支援

障害者支援施設等に入所している障害者又は精神科病院等に入院している精神障害者につき、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談その他の必要な支援を行う。

対 象

ア 障害者支援施設、のぞみの園又は療養介護を行う病院に入所している障害者。

※児童福祉施設に入所する18歳以上の者、障害者支援施設等に入所する15歳以上の障害者みなしの者も対象

イ 精神科病院等に入院している精神障害者。

※入院期間が1年以上の者

※入院期間が1年末満である者であっても措置入院や医療保護入院者で住居の確保などの支援を必要とする者や、地域移行支援を行わなければ入院の長期化見込まれる者についても対象

②地域定着支援

居宅において単身等で生活する障害者につき、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に相談その他必要な支援を行う。

対 象

ア 居宅において単身であるため緊急時の支援が見込めない状況にある者

イ 居宅において家族と同居している障害者であっても、当該家族等が障害、疾病等のため、障害者に対し、当該家族等による緊急時の支援が見込めない状況にある者

③基本相談支援

地域の障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者からの相談に応じる。

2. 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

- ① 障害福祉サービスの申請若しくは変更の申請に係る障がい者若しくは障がい児の保護者又は地域相談支援の申請に係る障がい者の心身の状況、その置かれている環境、サービスの利用に関する意向その他の事情を勘案し、利用する障害福祉サービス又地域相談支援の種類及び内容等を記載したサービス等利用計画を作成する。

「サービス等利用計画等の記載事項」

- ア 利用者及びその家族の生活に対する意向
- イ 総合的な援助の方針
- ウ 生活全般の解決すべき課題
- エ 提供される福祉サービス等の目標及びその達成時期
- オ 福祉サービス等の種類、内容、量
- カ 福祉サービス等を提供する上での留意事項
- キ モニタリング期間

- ② 支給決定若しくは支給決定の変更の決定後に、指定障害福祉サービス事業者、指定一般相談支援事業者との連絡調整等の便宜を供与するとともに、支給決定又は地域相談支援給付決定に係るサービスの種類及び内容、担当者等を記載した「サービス等利用計画」を作成する。

「サービス等利用計画等の記載事項」

- サービス等利用計画の内容に加え、次の事項を追加。
- ア 福祉サービス等の利用料
 - イ 福祉サービス等の担当者

対象者

- ア 計画相談支援

障害福祉サービスの申請若しくは変更の申請に係る障害者若しくは障害児の保護者又は地域相談支援の申請に係る障害者。

- イ 障害児相談支援

障害児通所支援の申請若しくは変更の申請に係わる障害児の保護者。

④継続サービス利用支援及び継続障害児支援利用援助

支給決定障害者等が、支給決定の有効期間内において、サービス等利用計画又は障害児支援利用計画が適切であるかどうかにつき、モニタリング期間ごとに、障害福祉サービス等の利用状況を検証し、その結果及び心身の状況、その置かれている環境、サービスの利用に関する意向その他の事情を勘案し、「サービス等利用計画」の見直しを行い、その結果に基づき次のいずれかの便宜を供与する。

- ア 「サービス等利用計画」を変更するとともに、関係者との連絡調整等を行う。
- イ 新たな支給決定若しくは支給決定の変更の決定又は地域相談支援給付決定が必要と認められる場合において、当該支給決定障害者等又は地域相談支援給付決定障害者に対し、当該申請の勧奨を行う。

対象者

指定特定相談支援事業者が提供したサービス利用支援により「サービス等利用計画」が作成された支給決定障害者等又は地域相談支援給付決定障害者。

④基本相談支援

地域の障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者からの相談に応じる。

(6) 資質向上

- ①八代市障がい者支援協議会相談支援部会への参加。(事例検討など勉強会)
- ②熊本県県南地域相談支援事業所連絡協議会への参加。(事例検討など勉強会)

(7) 関係機関等との連携

- ①利用者並びにご家族との面会、連絡を密に図り、②に記載している機関等への協力体制を実施するため、利用者を中心としたネットワーク作りに努めました。
- ②八代市担当課並びに保健師、福祉事務所、熊本県、担当地域振興局、社会福祉協議会、障がい者（児）事業所、医療機関、職業安定所、支援学校等、民生児童委員、障がい者相談員等との連携に努めました。
- ③サービス担当者会議等により、本人の希望等、計画への共通理解、情報共有を図った。

(8) 利用者数（契約者数）

対象者	利用者数（平成31年3月末現在）
障がい者	32名
障がい児	44名
計	76名

(9) 実施支援数

①訪問相談	10件	④サービス担当者会議等	110件
②来所相談	5件	⑤関係機関との調整	146件
③電話相談	24件	⑥同行・その他	485件

(10) 計画相談支援・障がい児計画相談支援

計画相談支援	
契約者数	32名
1. サービス等利用計画作成	29件
2. モニタリング	39件
3. サービス担当者会議実施加算	32件
4. サービス提供時モニタリング加算	45件
5. 医療・保育・教育機関等連携加算	2件

障がい児計画相談支援	
契約者数	44名
1. サービス等利用計画作成	56件
2. モニタリング	53件
3. サービス担当者会議実施加算	51件
4. サービス提供時モニタリング加算	45件
5. 医療・保育・教育機関等連携加算	18件

老人福祉施設 養護老人ホーム 保寿寮

1. 施設理念

敬愛の心で入所者の生活を支えます。

2. 基本方針

- ・入所者の人格を尊重し、思いやりの心と笑顔で接します。
- ・安全で安心な生活環境を提供します。
- ・それぞれの能力にあった支援を計画的に行います。
- ・開かれた施設・地域に根ざした施設を目指します。
- ・職員は資質向上を目指し、常に努力します。

3. 処遇方針体系（別紙資料1）

4. 入所者の状況

平成30年4月1日現在

	入所者数			
		男	女	合計
入所状況	市内	15	35	50
	市外	0	0	0
	合計	15	35	50
平均年齢		76.7	83.7	81.6
最高年齢		86	94	—
最低年齢		67	67	—

市外入所者内訳

平成31年3月31日現在

	入所者数			
		男	女	合計
入所状況	市内	18	32	50
	市外	0	0	0
	合計	18	32	50
平均年齢		75.7	84.9	81.6
最高年齢		88	96	—
最低年齢		66	66	—

市外入所者内訳

5. 年齢別入所状況

平成30年4月1日現在

	59歳以下	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95歳以上	合計
男	0	0	2	6	5	2	2	0	0	17
女	0	0	2	3	3	6	12	6	1	33
合計	0	0	4	9	8	8	14	6	1	50

平成31年3月31日現在

	59歳以下	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95歳以上	合計
男	0	0	3	5	7	1	2	0	0	18
女	0	0	2	3	2	5	10	8	2	32
合計	0	0	5	8	9	6	12	8	2	50

6. ショートスティ利用状況

利 用 者 0名(0名)

• 理由 • •

・延べ日数 ・・・ 0日

7. 外部介護サービス利用状況

- ・サービス内容：通所介護事業所（デイサービスセンター）利用

平成30年4月1日現在 合計14名

(要支援4名、要介護者10名)

	利用者数
男	3
女	6
合計	9

8. 障害者加算認定対象者増減状況

平成30年4月1日現在

(身障4名、知的3名、精神4名)

二、精神科 醫療的診斷書〇名)

	対象者数
男	5
女	6
合計	11

9. 職員の配置状況

平成30年4月1日現在

職種	人数
施設長	1
事務員	1
栄養士(嘱託)	1
看護師	1
主任生活相談員	1
生活相談員	1
主任支援員	1
支援員	2
支援員(嘱託)	1
支援員(臨時)	1
嘱託医	1
合計	12

平成31年3月31日現在 合計14名

(要支援3名、要介護者11名)

利用者数

	利用者数
男	1
女	6
合計	7

平成31年3月31日現在

(身障4名、知的4名、精神4名)

医療的診断書〇名)

	対象者数
男	5
女	7
合計	12

9. 職員の配置状況

平成30年4月1日現在

職種	人数
施設長	1
事務員	1
栄養士(嘱託)	1
看護師	1
主任生活相談員	1
生活相談員	1
主任支援員	1
支援員	2
支援員(嘱託)	1
支援員(臨時)	1
嘱託医	1
合計	12

平成31年3月31日現在

職種	人數
施設長	1
事務員	1
栄養士(嘱託)	1
看護師	1
主任生活相談員	1
生活相談員	1
主任支援員	1
支援員	2
支援員(嘱託)	1
支援員(臨時)	1
嘱託医	1
合計	12

10. 施設整備状況

日付	整備箇所	整備理由	金額
4/2	食堂洗面器改修	食堂の洗面器が壁から外れた為	118,800 円
4/2	排水ポンプセンサー取替え工事	ピット内の配管つまりとセンサーが故障していた為	43,200 円
4/9	給湯器修理一式	給湯器が故障した為	8,100 円
5/14	浴室トイレ木枠工事	浴室内的トイレの開閉ができない為	69,120 円
7/20	SS3、4号室畳替一式	SS3、4号室の畳が劣化した為	72,000 円
8/11	浄化槽雑排水管点検一式	排水管から水が流れなくなった為	24,840 円
9/4	浄化槽雑排水管移設工事一式	排水管の移設工事と排水マスの修繕が必要の為	382,000 円
10/14	事務所玄関ガラス戸改修	事務所玄関ガラス窓にヒビが入り危険な状態になった為	658,800 円
10/16	厨房木製ハンガードア修理	厨房出入り口のハンガードアのレールが腐食し動かなくなった為	197,640 円
11/5	2階居室(205.206)給湯管修理	2階居室 205、206 給湯管から漏水した為	29,916 円
11/9	ボイラー油圧ポンプ修理	油圧ポンプが正常に働いていない為	29,160 円
2/19	浴室脱衣所壁紙交換一式	脱衣所の壁が汚れていた為	72,000 円
3/31	トイレスイッチ交換	中央トイレのスイッチが作動しない為	12,960 円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
設備整備合計金額：1,718,536円			

11. 平成30年度保寿寮入所者異動表

①. 在籍者数（月初現在）

単位：人

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍者数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50

②. 入退所状況

(1) 入所

月/日	氏名(男女別)	入所前居住先
6/21	T・N (男)	軽費老人ホーム
6/29	K・K (女)	在宅
8/30	M・N (女)	老人保健施設
9/28	Y・A (男)	自宅
10/1	T・M (男)	老健施設
10/31	Y・K (男)	在宅
12/26	T・Y (女)	在宅
3/13	T・N (女)	老人保健施設
3/28	K・M (男)	自宅

(2) 退所

月/日	氏名(男女別)	退所先
6/8	H・M (女)	熊本総合病院
6/12	T・H (男)	入院死亡
8/2	N・I (女)	有料老人ホーム
9/5	K・H (男)	平成病院
9/14	S・S (女)	高田病院
10/29	T・N (男)	桜十字病院
12/10	T・U (男)	八代病院
3/5	Y・A (男)	高田病院
3/12	E・Y (女)	老健施設

12. 事故報告件数

平成30年度件数 46件

(内訳)

- ①転倒（屋内） 28件
- ②転倒（屋外） 2件
- ③誤嚥（食事） 0件
- ④服薬（誤飲） 1件
- ⑤無断外出 3件
- ⑥救急医療 2件
- ⑦その他 10件

※職員会議にて報告・検討

13. 苦情相談件数

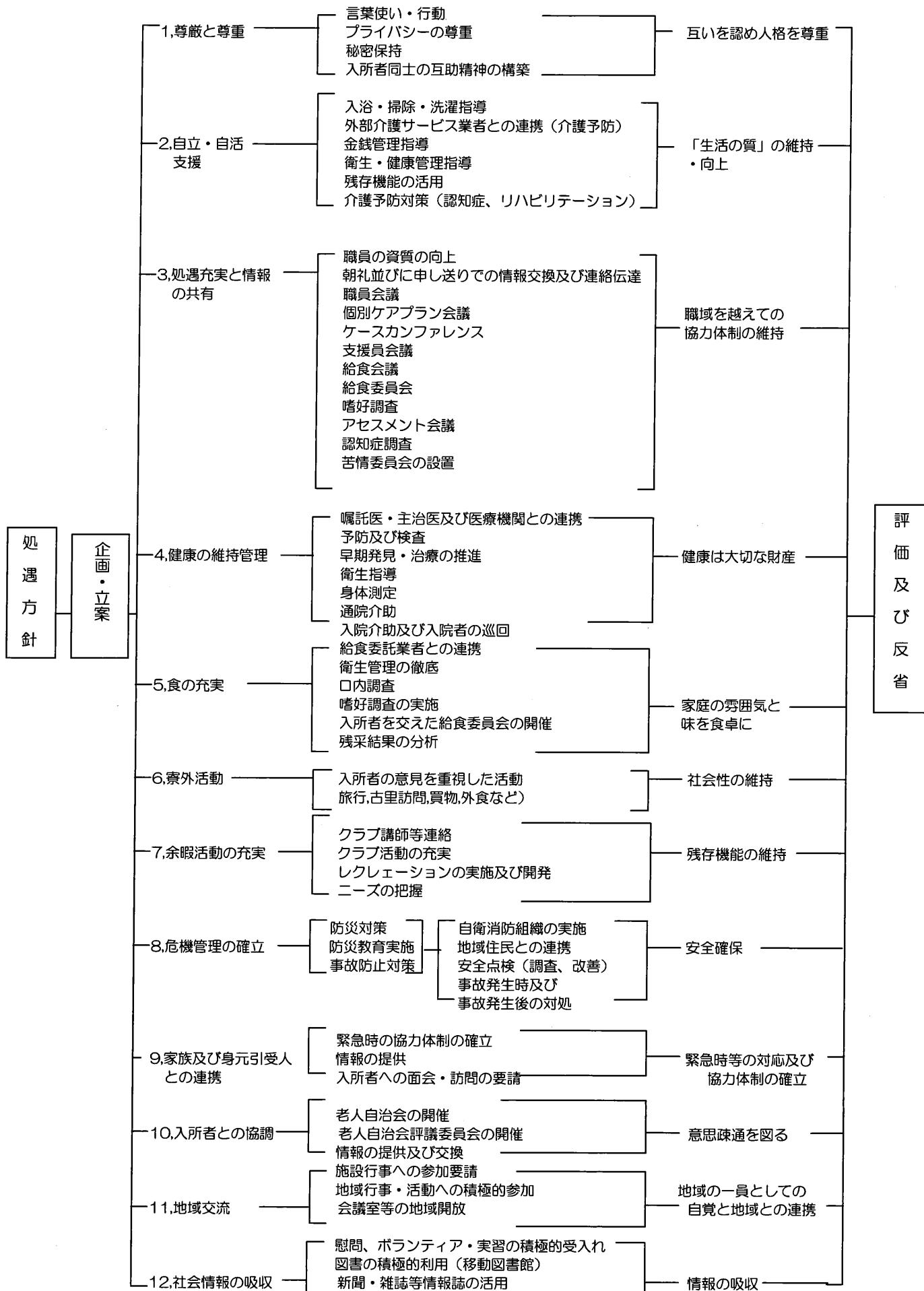
平成30年度件数 7件（内：未解決0件）

(内訳)

- ①他入所者とのトラブル（暴力・暴言等） 1件
- ②被害妄想と思われるもの（居室侵入等） 0件
- ③職員の対応等に対するもの 3件
- ④身元・地域・事業所等外部からの
苦情相談 0件
- ⑤その他 3件

※朝礼・終礼時にて報告・検討

処遇方針体系



行 事 実 施 表

月別	月例行事	寮内行事	健 康 衛 生	地域交流・慰問 関係・その他
4	・自治会 ・職員会議 ・ケアプラン会議 ・アセスメント会議 ・理髪 ・体調測定 ・誕生会 ・コーヒータイム ・カラオケ ・特別メニュー食(月1回) ・買物日 ・誕生月に御家族への近況報告 (各担当から処遇報告)	鯉のぼり作成・展示、 預貯金報告、花見	介護訪問調査、 感染症対策委員会	瑞峰流慰問 日奈久小学校入学式
5		菖蒲風呂、バラ園見学 地域清掃	認知症調査、 介護訪問調査	日奈久小中合同運動会見学
6		氷室祭参拝 苗植え(から芋)、 寮内草取り 防火避難訓練(津波想定)	介護訪問調査、保健衛生指導、給食委員会、エアコン清掃、水質検査(温泉水) 室内消毒、身体拘束委員会 レジオネラ症防止対策に関する勉強会	日奈久小4年生交流会 日奈久中3年生交流会
7		七夕、預貯金報告 全体レクリエーション	検尿、健康診断(心電図・一般採血・レトゲン)、介護訪問調査、 感染症対策委員会	日奈久小4年生交流会 日奈久老人会交流会
8		盆用品買物、仏壇磨き、 盆供養法話	嗜好・口内調査、介護訪問調査、ガラス清掃、換気扇・トイレ排水溝掃除、 布団クリーニング	
9		敬老会、彼岸供養法話、 寮内草取り・片付け、 余暇活動(阿蘇班) 地域清掃	給食委員会、介護訪問調査、貯水槽清掃、給食委員会、身体拘束委員会 施設内外安全点検	八代市盲人福祉協議会慰問
10		寮内草取り、芋掘り、 預貯金報告、交通安全教室 (市役所、余暇活動(熊本班) 防火避難訓練	介護訪問調査、インフルエンザ予防注射、嗜好調査、 浄化槽清掃、ワックス清掃	ふれあいフェスタ出展
11		妙見祭見学、ふれあいフェスタ見学、たいよう祭見学	介護訪問調査、エアコン清掃、室内消毒、感染症対策委員会	花馬来寮
12		忘年会、正月用品買物、 大掃除、ゆず風呂、 余暇活動(天草班)	保健衛生指導、介護訪問調査、ガラス清掃、給食委員会、上水道水法定検査	日奈久小4年生交流会、 八代市婦人会慰問
1		若風呂、初詣 預貯金報告、どんどや	感染症対策委員会、給食委員会、介護訪問調査	日奈久小4年生交流会 入所者状況調査
2		豆まき 防災避難訓練(夜間想定) 全体レクリエーション	食事摂取調査、給湯器洗浄 消防設備点検、介護訪問調査、身体拘束委員会 室内外安全点検	八代保健所から査察
3		彼岸供養、花見 余暇活動(熊本動植物園) 余暇活動(市内外食)	給食委員会 健康診断(心電図・一般採血・検尿)、介護訪問調査	日奈久老人会交流会 二見中央保育園慰問 日奈久小学校卒業式 日奈久下西町研修及び意見交換会、八代保健所から指導

※ケースカンファレンス(随時実施) ※預貯金払出(毎月1回・随時) ※入浴(月・水・金) ※移動図書(毎月1回)

※クラブ活動

・生 花・毎月1回(8名) ・詩 吟・毎月2回(9名) ・書 道・毎月2回(10名) ・音 楽・毎月2回(希望者)
・園 芸・随時活動(希望者) ・カラオケ・随時活動(希望者) ・魚釣り

※ワックス清掃(年1回) ※冷暖房機・空調機清掃(年2回) ※ガラス清掃(年2回) ※害虫消毒(毎月)

※室内消毒(年2回) ※各種施設点検(随時)

平成30年度 障害児通所支援事業所 八代市のぞみ母子センター 事業報告書

1、施設理念

- ① 母子療育を基本とし、療育を通してよりよい家庭関係が育つように支援します。
- ② お子さんが生活しやすくなるように、一人ひとりに応じた支援を行います。

2、基本方針

- ① 懇切丁寧に適切な指導技術をもって指導する。
- ② 童の個々の状況に応じた通所支援計画を作成し、その計画に即した適切な療育支援を提供するため、一日一定時間以上の個別指導を実施する。
- ③ サービス提供方法等について理解しやすいように説明を行い、関係する市町村、他の障害福祉サービス事業所、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図る。
- ④ サービス提供終了に際しては、児童又はその家族に対して適切な指導を行うと共に関係する市町村、他の障害福祉サービス事業所、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、サービス支援の情報提供に努める。
- ⑤ 児童それぞれの人格を尊重し、プライバシーの保護に努める。
- ⑥ 苦情解決の第三者委員による苦情処理に添った問題解決に努める。
- ⑦ その他、指定障害児通所支援事業所の提供上必要な支援を行う。

3、職員配置状況(平成31年3月31日現在)

職種	児童発達支援・放課後等デイ	保育所等訪問支援	勤務形態
管理者			
児童発達支援管理責任者	1(兼務)	1(兼務)	常勤・兼務
保育士	3		常勤・専従
児童指導員	1		常勤・専従
保育士	2(兼務)		常勤・兼務
訪問支援員		1	常勤・専従

4、利用者年齢別(平成31年3月31日現在)

	012	年少	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3	高1
男	4	3	5	12	4	2	4	2	7	4	1	1	2	1
女	6	1	0	2	4	1	0	1	2	2	1	0	0	0
計	10	4	5	14	8	3	4	3	9	6	2	1	2	1

5、利用者障害別(平成31年3月31日現在)

種別	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援
肢体不自由児	0	2	
自閉的傾向児	10	29	4
ダウン症児	0	0	
知的障害児	5	3	
その他	3	2	
未診断	15	3	2
計	33	39	6

6、療育の内容

児童発達支援

1)年齢別クラス

- ・活 動 月・火・水・木・金は8時30分～12時30分、
火・水・金は13時30分～17時30分年齢別クラスで支援を実施。
- ・対象児 年齢別(年長、年中、年少、0、1、2歳児)の各10名程度の子どもと保護者。
- ・目的 小集団の活動を通して、日常生活や社会生活に適応できるよう、運動能力、認知理解コミュニケーション能力を促す。また、保護者のいろいろな「困りごと」に対応。
- ・個別的指導 1日一定時間以上の個別的指導を実施。

2)身辺自立クラス

- ・活 動 月曜日から金曜日までの間(所要時間:1時間30分)支援を実施。
- ・対象児 身辺面において「自立」に専門的な支援が必要とおもわれる子ども。
- ・目的 「自分のことは自分で」の意識を育てることで人との関わりで大切なマナーを知ることを目的とし、子どもとその保護者に分かりやすい手順や場所の環境設定を指導。

3)土曜日療育

- ・活 動 第2土曜日(療育時間:8時30分～14時30分)支援を実施。
- ・対象児 就学前又は就学児童の10名程度の子ども。
- ・目的 自分のことは自分で行い、保護者以外の人と関わる経験を積み、異年齢の子どもと関わる機会を作る。

放課後等デイサービス

- ・活 動 月曜日から金曜日まで支援を実施。
- ・対象児 就学児童の10名程度の児童とその保護者。
- ・目的 生活能力の向上のために必要な訓練を行い、また、社会との交流を図ることができるよう指導及び訓練を行う。

保育所等訪問支援

- ・活 動 火曜日8時30分～17時30分、
- ・対象児 障害児通所給付を受けた児童
- ・目的 障害児以外の児童との集団生活に適応することができるよう、適切かつ効果的な支援を行う

一週間の流れ

曜日 時間	月	火	水	木	金	第2土
8:30～12:30	年中児1	年中児2	身辺自立	年少児	0,1,2歳児	8:30～14:30
13:30～17:30		年長児1	年長児2	年長児3		・放課後等デイ
	放課後等デイ	放課後等デイ	放課後等デイ	放課後等デイ	放課後等デイ	・身辺自立

7、事故報告件数 0件

8、ヒアリハット件数 5件 (内訳) 療育の活動中の転倒
遊具との接触等

9、苦情相談件数 0件

※平成31年3月、保護者等からの事業所評価と事業所における自己評価を行い、平成31年4月、集計結果と業務改善点を廊下に掲示し、各ご家庭へ配布した。
主な改善点 ・遊具等の配置 ・丁寧な説明

10、三次圏域(熊本県こども総合療育センター、南部発達支援センターわるつ)、二次圏域(八代圏域地域療育センター)からの支援 ※行事実施表記載

11、評価

平成32年度児童発達支援センター移行に向けて、スタッフの意識改革と専門性の向上が課題である。今年度は、スタッフ間の療育に対する共通理解を図るために、事前・事後のミーティングのあり方を検討した。また、事業所の特色である親子支援の重要性を考え、家庭という最も重要な環境の中で、母子療育を通して家庭出来る「家庭療育」の提案(適切なアドバイス)を目標に掲げ取り組んだ。

新たな取り組みとして年長児の保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントプログラム)の講座(6回コース)を2回行った。子どもさんへの関わり方や声かけの変化がみられた。

危機管理においては、不法侵入者対応訓練や発煙筒を使用した消防総合訓練を実施した。臨機応変に対応するためには、普段から様々な起こりうる可能性について話し合う等、スタッフ間のコミュニケーションが大切であることを確認した。

12. 利用状況

区分 月	開所 日数	児童発達支援			放課後等デイ			月間 人数	一日平 均人数	前 年 度 一 日 平 均 人 数	家庭 連携	関係 機関 連携	事業 所内 相談	保育所等訪問	
		契約 人数	延べ 人数	欠席 人数	契約 人数	延べ 人数	欠席 人数							契約 人数	延べ 回数
4	20	26	67	5	39	98	7	165	8.3	8.9		4	1		
5	22	28	94	3	41	113	5	207	9.4	8.8	5	5			
6	22	29	103	5	41	108	7	211	9.6	9.1	2	4			
7	21	30	103	6	41	94	6	197	9.4	9.3	7	9			
8	23	31	104	16	42	106	1	210	9.1	9.8	2	7		1	
9	19	31	93	4	42	86	5	179	9.4	9.4	1	5		1	
10	23	30	92	10	42	116	10	208	9.0	9.1	4	4		1	
11	22	30	99	8	41	107	9	206	9.4	10.0	4	8		2	
12	20	30	98	5	41	103	10	201	10.1	10.3	2	4		4	
1	19	31	97	11	40	105	4	202	10.6	9.5	1	2	1	5	
2	20	31	90	11	38	98	15	188	9.4	9.2	1	8		6	
3	21	33	105	14	39	101	8	206	9.8	10.1		8		6	
計	252	33	1145	98	39	1235	87	2380	9.4	9.4	29	68	2	6	

12、平成30年度行事実施表

月別	行事関係	療育関係・支援	研修会関係
4	5 職員会議 18、20 第1回特別支援教育就学説明会説明会 20 職員会議 23 八代圏域日程調整会	24 体操教室	
5	18 職員会議	10 ペアレントプログラム1 14~18 感染症対策 17 ペアレントプログラム2 21 拠点施設支援:保育士 24 拠点施設支援:療育長	2 ペアレントプログラムスタッフ講習 11 八代圏域スタッフ合同研修会 「療育とは」 25 八代圏域保護者交流会 「就学に向けて」
6	20 職員会議	4 命について勉強会 7 ペアレントプログラム3 11 体操教室 12 拠点施設支援:OT 14 27 交通教室 21 ペアレントプログラム4 28 ペアレントプログラム5	5 八代圏域スタッフ合同研修会 「身辺自立」 22 八代圏域スタッフ合同研修会 「療育とは」
7	5 熊本県こども総合療育センター連携会議 9 社会福祉事業団人権研修 18 八代圏域通所支援連絡会議 19 職員会議	12 ペアレントプログラム6 17 ペアレントプログラム1 23 体操教室 24 ペアレントプログラム2 25~30 外国語指導助手交流 31 ペアレントプログラム3	6 八代圏域スタッフ合同研修会 「見立て1」 13 八代圏域スタッフ合同研修会 「見立て2」
8	17 職員会議	6 体操教室 7 ペアレントプログラム4 8 拠点施設支援:心理士 16~22 夏祭り 21 ペアレントプログラム5 28 ペアレントプログラム6	
9	18 職員会議 21 不審者避難訓練 29 代陽校区ふれあいまつり実行委員会	6 体操教室	7、21 八代圏域スタッフ合同研修会 「見立て3,4」 13 八代圏域保護者交流会 「高等学校の現状」 13、28 スキルアップ研修
10	9 消防総合訓練 10 八代圏域通所支援連絡会議 15 職員会議 16、17 第2回特別支援教育就学説明会説明会 19 職員会議	25 拠点施設支援:心理士	5 八代圏域スタッフ合同研修会 「見立て5」 17 スキルアップ研修
11	7 代陽校区ふれあいまつり実行委員会 30 虐待防止研修会	13 拠点施設支援:OT 17 公共機関バス乗車体験 20 体操教室 22 伊藤言語聴覚士支援 29 ペアプロフォローアップ	4 療育公開講座 6 スキルアップ研修 9 応急手当研修 27 先輩お母さんとの交流会
12	9 代陽校区ふれあいまつり 13 のぞみお楽しみ会(イオン慰問) 17 職員会議 19 臨時八代圏域通所支援連絡会議	3 拠点施設支援:保育士 11 ペアプロフォローアップ 26 拠点施設支援:心理士	6 スキルアップ研修(事業所見学)
1	7 職員会議 16 八代圏域通所支援連絡会議 18 職員会議 28 職員会議	22 拠点施設支援:OT	25 スキルアップ研修
2	18 職員会議 19 三者会議 20 事業団職員研修 27 八代圏域通所支援連絡会議 28 互助会委員会	2 体操教室	17 ペアトレアドパンストワークショップ
3	4 職員会議 8 八代市立八代支援学校卒業式出席 12 三者会議 13 消防総合訓練 18 職員会議	29 平田作業療法士支援	25 平成30年度集団指導 27.28 医療的ケア児支援研修

平成 30 年度八代圏域地域療育センター事業報告書

平成31年3月末現在

1. 療育相談員設置事業について

療育相談員を配置し、在宅障がい児（者）等に対し、療育に関する相談に応じるとともに、各種福祉サービスの提供に係る援助、調整等を行う

※療育相談員2名設置

●電話相談（30分以上）：66件

- (1) 熊本県こども療育センターからの支援と連携
 - ・療育拠点施設事業における地域支援
 - ・県地域療育関係事業所連携会議（7/5）
 - ・地域療育センター療育相談員研修（11/19、12/5）
 - (2) 八代圏域通所支援事業所との連携
 - ・連絡会議及び合同勉強会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・別紙 1
 - (3) 地域の保護者会への支援
 - (4) 県南広域本部福祉課主催の会議（10/31、1/8、2/12）
 - (5) 県教育事務所との連携
 - ・八代地域特別支援連携協議会（2/4）
 - (6) 八代市学校教育課との連携
 - ・八代市特別支援連携協議会（2/18）
 - ・八代市就学指導委員会（6/29、8/31、10/26、12/14）
 - ・八代市特別支援教育体制推進事業での専門委員としての役割（8/2）
 - ・特別支援教育就学説明会（4/18・20、10/16・17）
 - (7) 氷川町学校教育課との連携
 - ・第1回氷川町特別支援教育コーディネーター研修会（6/18）
 - ・氷川町就学指導委員会（9/3、12/3）
 - (8) 八代市障がい者支援協議会（7/26、2/15）
 - ・こども部会（5/29、8/27、11/20、1/29）
 - (9) 八代圏域ペアレントメンター事業にコーディネーターとして参加
 - ・八代地域保護者向け講座（7/20）
 - ・フォローアップ研修等（4/24、9/29、12/1、2/28）

課題

- ・地域療育センターの役割や業務について説明を行いながら、周知を図ることが必要である。
 - ・各関係機関の状況について情報収集を行う必要がある
 - ・よりスムーズな連携を図っていくことが必要である

2. 療育三事業について

※療育相談員以外で療育三事業に関わる専門職（非常勤専門職）

心理士	13回/年	作業療法士	12回/年	作業療法士	6回/年
言語聴覚士	12回/年	理学療法士	5回/年		

(1) 在宅支援訪問療育等指導事業

在宅障がい児（者）等に対し、訪問の方法により、各種の相談・指導を行う

① 相談を受けた主な内容

- ・発達相談や児の特性理解
(ことばの遅れ、感覚・運動機能、吃音、発音、パニックや切りかえの悪さなどの問題行動、身辺自立、構造化・関わり方など)
- ・ケース会議（園・学校にて）
- ・療育について（情報提供、見学）
- ・医療受診について
- ・学校について（就学前検討、見学、転校など）
- ・保育園について（入園、転園など）
- ・家庭で取り組めることについて

② 実施件数

- ・支援を行った実人数：31人
- ・延べ件数：37件（就学前：36件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件	八代市	1	1	5	3	5	2	4	5	2	1	2	5
数	氷川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

③ 非常勤専門職による療育相談員への同行件数

- ・作業療法士5件 理学療法士3件

④ 各種の相談・指導後の各関係機関への繋ぎの件数

医療機関紹介	4	ケース会議	0
療育機関紹介	1	ぞうさん教室	1
専門スタッフ評価	4	児童相談所	1
就学相談	1	相談があれば対応する	25

課題

- ・子育てに不安を持っている保護者の存在がある
- ・地域療育センターの周知・啓発が必要である

(2) 在宅支援外来療育等指導事業

在宅障がい児（者）等に対し、外来の方法により、各種の相談・指導を行う

① 相談を受けた主な内容

- ・ぞうさん教室（親子の関わり教室）……………別紙2
- ・関わり方、遊び方について（外来療育）
- ・専門職による発達相談、発達検査、各種評価、目標設定や関わり方
- ・発音、吃音について
- ・療育について
- ・医療受診について
- ・保育園について（入園、転園など）
- ・就学相談（学校教育課と連携）
- ・福祉サービス、福祉機器について
- ・登園、登校しぶりについて
- ・転入、転出に関する情報提供
- ・保護者自身の受診、カウンセリングについて
- ・学校について（就学前検討、見学など）

② 実施件数

- ・支援を行った実人数：80人
- ・延べ件数：164件（就学前：129件 学齢児：13件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	八代市	6	3	2	10	14	13	17	18	25	17	21	15
	氷川町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3

③ 非常勤専門職による実施件数

- ・心理士9件 作業療法士17件 言語聴覚士23件 理学療法士2件

④ 各種の相談・指導後の各関係機関への繋ぎの件数

医療機関紹介	18	専門スタッフ評価	13
療育機関紹介	5	就学相談	2
精発につなぐ	1	相談があれば対応する	133

課題

- ・子育てに不安を持っている保護者の存在がある
- ・地域療育センターの周知・啓発が必要である
- ・専門職（非常勤）の支援内容について、検討・協議が必要である
- ・医療機関の受診待ちの状況にある親御さん等の不安軽減や関わり方、遊び方の外来療育（個別療育）を行っているが、期間が長くなる傾向がある

- ・そうさん教室は、定員3名と少なく、地域全体の底上げにつながっているかは考慮する必要がある

(3) 施設支援一般指導事業

障害児通所支援を行う事業所及び障害児保育を行う保育所等の職員に対し、在宅障がい児(者)等の療育に関する技術の指導を行う

① 相談を受けたおもな内容

- ・発達相談と児の特性理解と関わり方について
- ・関わり方と遊びについて
- ・保護者への伝え方について
- ・転びやすい子どもの靴の選び方について
- ・○脚、X脚、座り方について
- ・クラス運営について
- ・食事、箸の使い方について
- ・サーキットの組み立て方、展開について
- ・体の使い方について
- ・療育の組み立て方について
- ・主とサブリーダーの動きについて
- ・環境設定について
- ・個別支援計画、見立てについて
- ・現状把握と今後について

など

② 実施件数

- ・支援を行った実施設：58 施設
- ・延べ件数：120 件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
件	八代市	5	7	12	7	6	5	12	13	13	6	10	11	107
数	氷川町	0	1	1	0	0	2	1	2	2	3	1	0	13

③ 非常勤専門職による療育相談員への同行件数

- ・心理士 1 件　　作業療法士 10 件　　理学療法士 4 件

課題

- ・障害児通所支援事業所においては、研修で学んだことを実際の現場につなげることが難しい。
また、行政にも、事業所の状況を把握していただく必要がある
- ・地域療育センターの役割や業務内容について周知が必要である
- ・施設支援の際に提案を行うが、その後の取組みにはばらつきがある。また、支援依頼施設の偏りがある

平成30年度 共同生活援助事業 グループホームおおぞら荘 事業報告書

1. 設置目的

就労し又は就労継続支援等の日中活動を行っている利用者(知的障害者・精神障害者)に対して、地域において共同して自立した日常生活ができるよう必要な支援を行うことを目的とする。

(1)設置者	社会福祉法人 八代市社会福祉事業団
(2)ホーム名称	グループホームおおぞら荘
(3)ホーム所在地	八代市麦島東町4号8番地・12番地
(4)事業開始年月日	平成21年6月1日
(5)定 員	6名(男3名・女3名)

2. 入居者状況(平成31年3月31日現在)

(1)定員6名(男3名・女3名)

事業名	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
助 事 業 共 同 生 活 援	入居者	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5
	入居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	退居	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(2)性別

男女別	人数	計
男	3	3
女	2	2
計	5	5

(3)市町村別

市町村名	男	女	計
八代市	3	2	5
計	3	2	5

(4)平均年齢

性別	総年齢	平均年齢
男	134歳	44歳
女	129歳	64歳
計	263歳	52歳

(5)障害種別

性別	知的	精神	計
男	3	0	3
女	2	0	2
計	5	0	5

(6)年齢別

性別	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~60歳	61歳以上	計
男	0	1	1	1	0	3
女	0	0	0	0	2	2
計	0	1	1	1	2	5

3. 対象者

対象者	対象者像
知的障害者・精神障害者	健康で就労し又は就労継続支援等の日中活動を利用している知的障害者・精神障害者

4. 職員配置

管理者	サービス管理責任者	世話人
1	1 (管理者との兼務)	4(4対1)

5. 支援内容

(1)日常生活支援

- ①居室清掃支援
- ②入浴への支援
- ③衣服の洗濯及び衣服の整理整頓への支援等
- ④買物への支援
- ⑤衣服の着脱への支援

(2)共同生活支援

- ①浴室清掃支援
- ②地域清掃支援
- ③食前の準備、食後の片付け及び食器洗い等への支援
- ④余興の過ごし方への支援

(3)健康管理支援

- ①検温への支援
- ②薬の服用への支援
- ③歯磨き支援(食後)
- ④春～夏場においては、健康作りを目的として20分間程度公園等で散歩を行った。
- ⑤希望の里たいようと連携を取りながら対応した。

6. 支援計画

支援については、サービス管理責任者が、個別支援計画の原案の内容について、入居者又はその家族に対して説明し、文書により入居者の同意を得ることとし、個別支援計画を作成した際は、入居者へ交付し支援にあたってきた。

この個別支援計画は6ヵ月に1回以上定期的に個別支援計画の見直しを行い、必要に応じて、個別支援計画の変更を行ってきた。

7. 地域との交流(地域貢献)

毎月、グループホームおおぞら荘周辺の地域清掃(空き缶拾い、ごみ拾い)を行った。

8. 支援結果(まとめ)

(1)日常生活支援

- ① 自分自身できることは、自ら行うことを基本にしてきた。(時々支援が必要)
- ② 入居者各々が自分自身の居室については、掃除を行い、清潔を保った。(時々支援が必要)
- ③ 利用者のADLの低下により、生活面での不安から自宅での生活を望まれ、日々のグループホームの利用に繋がらなかった。

(2)共同生活支援

- ① 自由時間はテレビ鑑賞、または、買い物(外出)に出かける等楽しく過ごしていた。
- ② 外出した場合ホームへの帰宅時間等も各々が守れた。
- ③ お風呂の掃除、食前の配膳、食後の後片付け(食器洗い)等もお互い協力し合い交替で行った。
- ④ 毎月、地域の清掃(ごみ拾い、空き缶拾い)に入居者全員が積極的に行った。また、町内の清掃作業に参加した。
- ⑤ 每月、避難訓練(地震含む)を実施した。

(3)健康管理支援

- ① ホームへの帰宅後は手洗いうがいの励行、冬場にはマスクの着用に努めた。
- ② 毎朝、自ら検温を行い健康管理に努めた。
- ③ 薬の服用については、自らが服用できているか確認できるように工夫し支援を行った。
- ④ 体調が悪い時には、世話人で対応し必要な場合においては、事業所及び家族に連絡を行った。
- ⑤ 春から夏場にかけて入居者全員が体力づくり及び健康維持の目的で楽しく、散歩を行った。

(4)日中活動等への参加状況

就労場所	実 員	事業名	種 目			
			買物力ゴ	公園作業	印 刷	軽作業
八代市立希望の里 たいよう	(男2・女2)	就労移行支援事業				
		就労継続支援B型事業	1	1	1	1
有限会社ホープクリー ーニング八代工場	(男1名)	八代市海士江町 2332-4	1			
地域移行	該当者無					

病気以外は休むことなく日中活動への参加を楽しみにしている。

9. グループホーム建物建替えについて

現施設の新施設、移転を検討しているところですが、平成30年度は土地購入へ向けて数か所の土地の確認を行い、連携が取れる希望の里たいようの近隣の土地を第一希望として購入できるように進め参りました。(12月理事会経過報告)その候補地の一つであります土地所有者と3月に顔合わせを行いました。

平成30年度行事実施表 (グループホームおおぞら荘)

月別	行事関係	防災対策	施設管理	交流	その他
4	5 消防設備点検 14 レクリエーション(DVD鑑賞) 21 レクリエーション(ドライブ) 26 お別れ会 28 地域清掃	28 避難訓練	24 世話人会議		30 入居者退所
5	12 レクリエーション(ドライブ) 18 家族会総会 19 レクリエーション(DVD鑑賞) 26 地域清掃	26 避難訓練 (地震)	18 世話人会議		
6	3 麦島東西町内清掃参加 16 レクリエーション(ドライブ) 30 地域清掃	30 避難訓練 (地震)	22 世話人会議		
7	6・28 レクリエーション(ドライブ) 28 地域清掃	28 避難訓練	20 世話人会議		
8	4 大掃除 25 地域清掃 30 昼食会	25 避難訓練	21 世話人会議		20 自火報設備工事完了 28 自火報設備消防署立会
9	1 レクリエーション(3B体操) 9 市民体育祭(フライグティス) 9 レクリエーション(DVD鑑賞) 30 レクリエーション(ドライブ)	29 避難訓練	21 世話人会議		
10	13 レクリエーション(DVD鑑賞) 19 すまいるフェスタ 27 地域清掃	27 避難訓練	19 世話人会議		13 感染症研修
11	3 たいよう祭参加 15 日帰り旅行(天草温泉) 17 八代市ふれあいフェスタ参加 23 地域清掃 30 誕生会	23 避難訓練	20 世話人会議		
12	1・22 レクリエーション(ドライブ) 8 たいようお楽しみ交流会 15 レクリエーション(DVD鑑賞) 27 餅つき会 29 地域清掃・大掃除	29 避難訓練	18 世話人会議		
H31.1	5 レクリエーション(初詣) 12 レクリエーション(鏡開き) 19 レクリエーション(ドライブ) 19 誕生会 新年会 26 レクリエーション(DVD鑑賞) 26 地域清掃	26 避難訓練	22 世話人会議		
2	1 豆まき 23 地域清掃	23 避難訓練	19 世話人会議		1 入居者入所
3	1 誕生会 2 レクリエーション(DVD鑑賞) 9 レクリエーション(ペタンク) 15 レクリエーション(ドライブ) 31 地域清掃	30 避難訓練	20 世話人会議		20 熊本県集団指導 △8 施設見学(つとむ相談センター)

平成30年度 障害福祉サービス事業所 八代市立希望の里たいよう 事業報告書

1. 設置目的

常時介護を要する利用者への食事、入浴、排せつ等の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他、身体機能又は生活能力維持向上のための支援、又は、通常の事業所に雇用されることが困難な利用者への就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い自立した日常生活又は社会生活ができるよう支援をすることを目的とする。

2. 利用者登録状況(平成31年3月31日現在)

事業名	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	30/1	2	3
生活介護	登録人員	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	13	13
	入所				1								1
	退所												
就労移行支援	登録人員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
	入所								1				
	退所								1			1	
就労継続支援B型	登録人員	70	71	70	69	68	67	66	67	67	67	67	66
	入所	1						1					1
	退所		1	1	1	1	1					1	
合計		84	84	83	83	82	81	81	82	81	81	81	81

①定員77名（生活介護事業12名・就労移行支援事業10名・就労継続支援B型事業55名）

※出勤稼働率 83.7 %

②性別

事業別	男	女	計
就労移行支援	0	0	0名
就労継続支援B型	46	21	67名
生活介護	7	7	14名
合計	53	28	81名

④ 市町村別

市町村名	男	女	計
八代市	49	28	77名
氷川町			名
芦北町	3		3名
菊陽町	1		1名
合計	53	28	81名

③平均年齢(満年齢)

性別	総年齢	平均年齢
男	2,193.8	44.8
女	1,119.0	43.0
合計	3,312.8	43.9

⑤ 障害種別

	生 活 介 護	移 行 支 援	継 続 B 型	計
知的	10	0	47	57名
身体	3		11	14名
精神	1		9	10名
合計	14	0	67	81名

⑥年齢別

	15~19 歳	20~24 歳	25~29 歳	30~34 歳	35~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60歳 以上	合計
男	0	4	10	4	2	11	13	9	53名
女		0	4	3	3	9	7	2	28名
合計	0	4	14	7	5	20	20	11	81名

3. 職員配置状況(平成31年3月31日現在)

職種	生活介護 常勤換算後の人数	就労移行支援 常勤換算後の人数	就労継続支援B型 常勤換算後の人数	計
				職員数
管理者	1	1	1	1
サービス管理責任者	1兼務	1兼務	1兼務	2(管理者兼務)
看護師	1			1
職業指導員		1	9	10
生活支援員	1	1	1	3
就労支援員		1		1
目標工賃達成指導員			1	1
事務員兼職業指導員	1兼務(0.5)		1兼務(0.5)	1
合計	3.5	3	12.5	19

4. 事業実施内容(生活介護事業・就労移行支援事業・就労継続支援B型事業)

① 対象者

生活介護事業	就労移行支援事業	就労継続支援B型事業
・常時介護が必要な者で障害程度区分3以上の利用者、または年齢が50歳以上で障害程度区分2以上の者。	・一般就労を希望する65歳未満の者。利用は原則2年間。	・就労経験がある者で、年齢や体力の面で企業や就労継続支援A型等で雇用されることが困難となった者。 ・就労移行支援事業を利用した結果、就労継続支援B型の利用が妥当と判断され、企業や就労継続支援A型事業の雇用に結びつかなかった者。 ・既に50歳に達している者。

② 支援計画

支援にあたっては、利用者個々の特性、性格、能力及びその家庭環境を総合的に把握し利用者本人及び家族の要望、意見等を十分に聞き、各自一人一人に適した個別支援計画を定め計画に基づき支援に当たってきました。また、この支援計画は必要に応じて、見直しを行い支援に当たってきました。

(生活介護・就労継続支援B型は、6ヶ月に1回以上・就労移行支援は、3ヶ月に1回以上)

生活介護(生産活動)

- フルーツキャップ折・ボール・箸入れ・ビーズ

職員数	利用者数	件数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
3名	14名	246件	246日	2,195人	60,000 円	60,000 円
作業を通じて指先等のリハビリ効果に繋がった。工賃支給により、意欲向上が図られた。						

就労移行支援事業

(職業指導支援)

- 印刷事業

職員数	利用者数	件数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
3名	12名	1,050件	243日	2,354人	13,260,000 円	13,310,597 円
利用者の能力向上(取り組む姿勢、仕分け、製本他)により、作業能率が上がった。						

パン製造・販売事業

職員数	利用者数	年間個数	延べ日数	延べ人員	パン種類	目標額	実績額
3名	8名	43,233個	242日	1,847人	50種	5,339,000 円	5,228,126 円
主な販路は、委託販売として、(八代市役所売店、マックスバリュ、その他)対面販売として、(各イベントへの参加、官公庁、福祉施設、学校関係、一般企業等へ)販売を展開してきた。							

就労継続支援B型事業

(職業指導支援)

- 買物力ゴ洗净事業

職員数	利用者数	個数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
2名	14名	782,986個	242日	2,929人	8,282,000 円	8,212,191 円
九州全域からのイオン・マックスバリュー・COCOSAなど、受注数(個数)が増加した。						

公園作業

職員数	利用者数	作業場所	目標額	実績額	
3名	18名	・麦島東公園 ・水無川公園 ・末広公園 ・上片墓園 ・金剛自然観察者用駐車場	4,476,000 円	4,476,526 円	
・麦島東公園		作業稼働日数	175日	延べ人員	2,098人
・末広公園		作業稼働日数	122日	延べ人員	798人
・水無川公園		作業稼働日数	131日	延べ人員	943人
・金剛自然観察者用駐車場		作業稼働日数	105日	延べ人員	563人
・熊本総合病院駐車場		作業稼働日数	20日	延べ人員	230人
・上片墓園		作業稼働日数	119日	延べ人員	717人
昨年に続き、上片墓園清掃を受注することが出来た。					

・軽作業

職員数	利用者数	作業種類			目標額	実績額
2名	15名	フルーツキヤップ折・箱折・EMボカシ販売・ボール洗浄・シール貼り			1,359,000 円	1,348,740 円
作業種	個数	延べ日数	延べ人員	委託元		
フルーツキヤップ	1,419,910個	243日	2,931人	インターナショナル・ケミカル(下請)阿蘇郡		
箱折	44,898個	28日	95人	すずきパッケージ(下請)八代市		
箱製缶	56,539個	104日	393人	中川パッケージ(下請)八代市		
ボール洗浄	60,000個	13日	126人	(株)モードテラ(下請)東京都		
EMボカシ製造・販売	1,746個	12日	44人	自主製品		
シール貼り	0枚	0日	0人	西田精麦(株)		
保護メガネ	1,800枚	3日	6人	八代合同花火競技大会実行委員会		
トマト箱折り	99,569枚	88日	429人	熊本青果物出荷組合		
重度者向けの作業種目として位置付け、実施してきた。						

③ 利用者月額平均工賃

(全体の平均)

生活介護 14名	就労移行 1名	就労B型事業 72名	一人当たりの月額平均工賃
3,581 円	14,856 円	16,225 円	14,203 円

5. 移行支援事業 就労基本訓練

・期日 每週火・木曜日	・就労への意識付け	・就職に必要な心構えについて
・時間 15:30~16:00	・挨拶の重要性について	・履歴書の書き方
・対象者 1名 ・指導者 2名	・パソコンに関する知識の向上	

以上の就労基本訓練を行った。

6. 送迎サービス

たいよう送迎利用者			徒歩	自転車	自家用車送迎	自家用車	バイク
コース	車 種	人員					
南廻り（郡築方面）	リフト付きマイクロバス	17名	4名	14名	9名	2名	0名
北廻り	29人乗りマイクロバス	16名					
鏡町廻り	8人乗りワゴン	6名					
坂本廻り	4人乗りワゴン	3名					
日奈久廻り	4人乗りワゴン	3名					
金剛廻り	8人乗りワゴン	7名					
計	6台	52名	4名	14名	9名	2名	0名
合 計		81 名					

※送迎支援を実施した結果

- ・利用者定員の確保に繋がった。
- ・出退勤時の交通事故防止に繋がった。

7. 日常生活支援

- ・基本的生活(挨拶、身だしなみ、清潔等)金銭管理、交通安全等の支援
- ・自立するための段階的な支援
- ・利用者間のトラブルの未然防止に努める。(意見箱設置、口頭による意見要望)
- ・利用者の悩み、問題等への相談支援を行ってきた。

8. 健康管理

- ・毎月1回の身体測定(身長、体重、血圧、体温)年一回の健康診断の実施
- ・毎朝、体操の支援、健康状態の把握に努めた。

9. 地域との交流

- ①高田小学校、中学校との実習を含めた交流、職場見学等を行った。
- ②中九州短期大学、幼児保育学科、経営福祉学科の実習を受け入れた。
- ③高田公民館祭りに参加し、パン販売を実施した。
- ④毎月1回施設周辺の清掃を行った。(ゴミ拾い、空き缶拾い、草取り)
- ⑤千の穂さんと共同で、施設に隣接する歩道と花壇の清掃を実施した。

10. 支援結果

(1)生活介護事業

- ・食事、入浴、トイレ介助は、利用者に合わせ個別支援を行った。
- ・軽運動
 - 嘱託医の指導により平行棒を使った歩行訓練、バランスボールでの平行感覚等を個々に合わせた機能維持訓練を行った結果、①肥満傾向にあった利用者が減量できた。②歩行が困難な利用者の下肢の強化に繋がった。
- ・学習活動、創作活動
 - ① 数字、文字等繰り返し学習することで少しづつ習得されてきた。
 - ② 余暇活動では、ドライブ等で季節感を養うことができた。
- ・重度の利用者(区分5)に対しては、職員を増員し、1対1での対応を行った。

(2)就労移行支援事業

- ①パン製造・販売
 - ・利用者各々が作業に対して責任感が出てきている。
 - ・パン販売をとおして、接客、電卓、レジ一等の技術向上に繋がった。
 - ・毎日、朝礼時に挨拶・接客時の声だし訓練(いらっしゃいませ・ありがとうございました)を行うことで全員が大きな声でいえるようになってきた。
 - ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。
- ②印刷作業
 - ・印刷関連機器(パソコン、製本機、ノリ付け機、計数機)の操作について利用者の技術向上がみられる。
 - ・切り取り線入れについては、支援を必要とせず利用者一人で行うことができるようになった。
 - ・指導により作業上で使用する数字の把握ができるようになってきた。
 - ・全体的に利用者の自主性、集中力、忍耐力、持続力等が身についた。又、作業技術の向上に繋がった。
 - ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。

(3)就労継続支援B型事業

①買物カゴ洗浄作業

- ・利用者が作業を幅広くできるようになるため作業配置の交代制を導入した結果、全体的に作業技術の向上に繋がった。
- ・毎日の朝礼、終礼時に挨拶や返事の重要性について強調した結果、自らの大きな声で挨拶と返事が言えるように成長に繋がった。
- ・何事にも自主的に行動に移せるようになってきた。
- ・持続性、協調性について身についてきた。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。

②公園作業

- ・個別指導により、利用者の草刈り機、芝刈り機等の操作技術が向上に繋がった。
- ・作業を通じて協調性、忍耐力が養われてきた
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきたと

③軽作業、

- ・挨拶、返事が積極的に大きな声で言えるようになってきた。
- ・フルーツキャップ折、箱折り、カート清掃、ボカシ製造等を通して、勤労意欲が高まり、同時に協調性、持続性が身についてきた。又手先等の機能回復に繋がった。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。
- ・自閉的傾向の利用者が(足、頭、鼻等を石鹼で必要以上に洗い、泡だらけになっている状況があった)、職員が連携した取り組みにより改善ができたが、注意観察が必要である。

(4)一般就労移行者(就職)

就労移行支援事業

事 業 名	氏名	性別	年 齢	採用日	就職先
就労移行支援事業					
	該当者無				

就労継続支援B型事業

事 業 名	氏名	性別	年 齢	採用日	就職先
就労継続支援B型事業					
	該当者無				

11.自主事業の実施

- ・10周年たいよう祭(11月3日文化の日)を自主事業として実施し、約600名の来場者を得られた。

12.苦情解決・第三者委員への報告

- ①前年度アンケートをもとに、苦情・要望に関する案件を報告した。(平成30年9月27日)
- ②回答率68%
- ③内容:職員の支援・対応に関すること。(不平等など) 送迎に関すること。自動販売機の内容に関すること。施設の設備に関する要望(消毒液の補充や温度湿度計)
※職員会議にて内容を精査、共有し、支援内容の改善に努めた。
※要望(工賃向上他)が多くあり、第三者委員へ提出する重大な案件はなかった。

平成30年度行事実施表

(八代市立希望の里たいよう)

月別	行事関係	防災対策	施設管理	作業実習生関係	交流	研修会関係
4	2-6利用者体調週間 14 家族会総会 14 レクリエーション(DVD鑑賞) 20 利用者特定健診(40歳以上) 21 レクリエーション(ドライブ)	27 避難訓練	5 臨時職員会議 10 生活介護会議 11 就労日型会議 12 就労移行会議 24 職員会議 24 支援員勉強会	3/19-4/4 中九州短大 2名	9 施設見学 オーシャン2名 10 高田小学校入学式参加 11 地域清掃	27 県施設協会施設長会 1名
5	7-11 利用者体調週間 12 レクリエーション(ドライブ) 19 レクリエーション(DVD鑑賞)	30 避難訓練	14 生活介護会議 16 就労日型会議 16 支援員勉強会 17 就労移行会議 23 職員会議 23 支援員勉強会		9 地域清掃 17 たいよう視察 八代市議会議員 文教福祉委員7名他 19 八代市支援学校運動会へ参加 24 施設見学 松西支援学校3名	18 県社会就労センター施設長会 1名 26 八代手をつなぐ育成会会議 1名 29 就労ネットワーク会議 2名 29 県施設協会評議員会 2名
6	4-8 利用者体調週間 16 レクリエーション(ペタンク) 16 10周年感謝祭パン販売会 20 たいよう内部研修(熱中症予防)	27 避難訓練	7 生活介護会議 13 就労日型会議 18 就労移行会議 20 職員会議	4-22 松橋支援学校 1名 8 松橋支援学校 1名 12-14 八代支援学校 1名 11-26 中九州短大 1名 18 A型事業所へ実習 1名	13 地域清掃	
7	2-6 利用者体調週間 6 レクリエーション(ドライブ) 28 レクリエーション(ドライブ) 30 就労移行勉強会	27 避難訓練	17 就労移行会議 17 生活介護会議 18 就労日型会議 18 職員会議 24 支援員勉強会 31 支援員勉強会	3-5 五中職場体験実習 2名 11-13六中職場体験実習 1名	2 施設見学 かんね3名 11 地域清掃	3 人権問題に関する事業主研修会 1名 10-11 キャリアパス対応新人研修 1名 12 すまいるフェスタ運営委員会 1名 20市いきいきふくしスポーツ大会会議 1名 26-27 県施設協会施設職員九州大会 4名 31 就労ネットワーク会議 1名
8	6 利用者特定健診(40歳以下) 6-10 利用者体調週間 7 就労移行勉強会 13-14 施設内ワックス掛け 27 就労移行勉強会	29 避難訓練	10 就労移行会議 10 生活介護会議 13 就労日型会議 22 職員会議 22 支援員勉強会 29 支援員勉強会	1-3 八代清流高校 4名 20-9/4 中九州短大 1名 31 県社協経由個人 1名	8 地域清掃 22 施設見学 松橋支援学校3名 29 施設見学 松西支援学校4名	1 人権同和教育夏季現地研修 1名 4 八代手をつなぐ育成会熊本大会 1名
9	1 レクリエーション(3日体操) 3-7 利用者体調週間 3 就労移行勉強会 6 社会科見学(軽作業班:熊本市方面) 8 レクリエーション(DVD鑑賞) 8 八代市民体育祭参加(ラインゲーブン) 22 レクリエーション(ドライブ) 30 いきいき福祉スポーツ大会(台風中止)	19 消防総合訓練	11 就労移行会議 11 生活介護会議 12 就労日型会議 19 職員会議 19 支援員勉強会 27 支援員勉強会	21-9/5 中九州短大 4名 13 体験利用 1名 4-6 中九州短大 1名	10 施設見学 松橋支援学校3名 12 地域清掃 13 施設見学 すまいる2名 20 施設見学 ラポール9名 27 施設見学 高田小2年生12名	6 県施設協会施設長連絡会 1名 7 サービス管理責任者研修 1名 13 市福祉避難所説明会 1名 15 市障がい者サポート制度研修 6名 18-19 強度行動障害支援者養成研修 1名 20 市ふれあいフェスタ会議 1名 21 就労ネットワーク会議 2名
10	1-5 利用者体調週間 13 たいよう内部研修(感染症) 13 レクリエーション(DVD鑑賞) 19 すまいるフェスタ2018(八代市) 22 就労移行勉強会	30 避難訓練	10 支援員勉強会 16 生活介護会議 16 就労移行会議 18 就労日型会議 18 支援員勉強会 24 職員会議	1-5 松橋支援学校 1名	10 地域清掃 29 氷川学園落成式へ出席	5 松橋支援学校実習反省会 1名 10 すまいるフェスタ会議 2名 22 食品衛生講習会 1名 26 障害福祉事業所従事者基礎研修 1名 27-28 実習指導者研修会 1名
11	3 10周年記念たいよう祭 4 八代学園ふれあい祭参加 5-9 利用者体調週間 12 就労移行勉強会 17 市ふれあいフェスタ参加 26 就労移行勉強会 28 FMやつらたいよう紹介(高田校区)	29 避難訓練	14 生活介護会議 14 就労移行会議 16 就労日型会議 21 職員会議 21 支援員勉強会 29 支援員勉強会	12-16 松橋西支援学校 1名 19-30 松橋西支援学校 1名	1 高田小2年作業見学10名 4 八代学園祭へ出席3名 5 施設見学 すまいる3名 7 地域清掃 21 施設見学 市支援学校9名	1-2 サービス管理責任者研修会 1名 20 就労ネットワーク会議 3名 22 すまいるフェスタ反省会 3名 26 会計実務研修会 2名 27 施設見学 市支援学校9名 27 福祉サービス苦情解決研修会 1名
12	1 レクリエーション(ドライブ) 3-7 利用者体調週間 8 お楽しみ交流会(家族会合同) 14 就労移行勉強会 15 レクリエーション(DVD鑑賞) 18 市地域婦人会連絡協議会より寄付贈呈 22 レクリエーション(ドライブ) 27 餅つき会 28 大掃除・利用者仕事納め	28 避難訓練	12 就労日型会議 12 支援員勉強会 13 就労移行会議 14 生活介護会議 19 職員会議 19 支援員勉強会		5 施設見学 市支援学校16名 5 美化運動(千の鶴合同)	3 障がい者就労支援セミナー 3名 10 中九州短大実習受入説明会 1名 10 南国プロック施設長会 1名 11 唐待防止・権利擁護初任者研修 1名 17 県社会就労センター施設長会 1名
H31.1	4 仕事始め 5 レクリエーション(初詣) 7-11 利用者体調週間 12 レクリエーション(鏡開き) 19 レクリエーション(ドライブ) 26 レクリエーション(DVD鑑賞) 29 就労移行勉強会	30 避難訓練	16 生活介護会議 16 就労移行会議 16 支援員勉強会 17 就労日型会議 23 職員会議 23 支援員勉強会	30 八代支援学校 1名	9 地域清掃	18 県施設協会施設長連絡会 1名 28 八障協会議 1名 20 就労ネットワーク会議 2名 31 日中活動支援部会研修会 2名
2	1 豆まさき 4-8 利用者体調週間 5 利用者歯科検診(保健センター) 7 社会科見学(印刷班:熊本市方面) 14 社会科見学(公園班:熊本市方面) 15 社会科見学(カゴ班:玉名市方面) 20 交通安全教室 22 社会科見学(パン・生活班:熊本市方面) 25 就労移行勉強会	26 避難訓練(水害)	12 生活介護会議 12 就労移行会議 13 支援員勉強会 19 就労日型会議 20 職員会議 20 支援員勉強会	4-20 中九州短大 3名 25-3/12 中九州短大 5名	6 地域清掃 16 高田公民館祭りへ参加 パン販売	4 会計実務研修会 2名 6 市交通事故防止研修 2名(少い・含む) 耗減税率経過措置対応セミナー 1名 21 施設協会施設職員・家族合同研修 4名 25 施設協会政策連盟講演会 1名
3	3 レクリエーション(DVD鑑賞) 4-8 利用者体調週間 9 レクリエーション(ペタンク) 11 就労移行勉強会 10 レクリエーション(DVD鑑賞) 15 レクリエーション(ドライブ) 25 就労移行勉強会	13 消防総合訓練	4 臨時支援員会議 6 支援員勉強会 13 生活介護会議 13 就労移行会議 13 支援員勉強会 14 就労日型会議 18 職員会議	2/25-3/12 中九州短大 5名	6 地域清掃 8 八代支援学校卒業式出席 29 施設見学 うと相談支援センター4名	7 すまいるフェスタ実行委員会 1名 14-15 強度行動障害支援者養成研修 1名 15 県社会就労センター施設長会 1名 19 県施設協会評議員会・職種別部会 4名 20 熊本県集団指導(生活介護・相談) 2名 27 熊本県集団指導(就労・G.H) 2名
合計				実習(体験)件数 21件 実習(体験)延べ人数 39名	交流団体件数 21件 交流者延べ人数 90名	